

県民会議での指摘事項（3回目）

部局名	事業名	発言内容
交流文化部	ふくいドットコム運営管理事業	ふくいドットコムは、簡易な情報しか英訳されていない。外国人観光客は体験型観光をしたいと思っているため、体験につながるような取組みや情報提供に努めてほしい
	観光マップ等作成事業	遠隔地から福井に来たいと思わせることが重要。紙媒体だと実際に手に取って見なければいけないため、今後は、HPやインスタなどのSNS、ユーチューブ等での配信に重点化すべき
	認定観光ガイド養成事業	留学生や英語を履修している大学生等を活用して、外国人向けの観光ガイドをやらせてもらうのはどうか
	芸術文化活動推進事業	補助金制度の周知をもっと図るべき。申請方法も簡易にすべき
		既存の団体だけでなく、セカンドライフを考えている高齢層が芸術文化活動を始める段階においても支援してほしい
	周遊・滞在型観光推進事業（観光事業全般）	外国人観光客は、自動車の運転ができないことが多いため、周遊滞在型の観光をするためには、交通手段の充実が必要
		外国観光客が周遊滞在型観光をする際には、外国語が堪能なガイドの育成も重要
		福井県の小・中学生学力トップの長所を活かし、教育メニューを含めた高い学力体験ツアー等を企画してほしい
		県民も旅行者の一員であり、県民を対象にしたPRも必要
		旅後のアフターフォローについても重要
広域スポーツセンター事業	スポーツクラブの活性化のためには、健康増進の観点から県内企業を通じて、参加を呼びかけるべき	
	部活動と絡め、子供たちも参加できる取組みにしてほしい	
健康福祉部	ひとり親家庭児童の学習支援事業	ひとり親の子供がコミュニティに入って、色々な人とよく話すことができる仕組みが必要
		保育士の育成については、幼稚園と保育園で県の所管が異なる（幼稚園は教育、保育園は健康福祉部）が、連携を強化してほしい
		大学機関等も含め、地域連携を含めた在り方についても検討してほしい
		相談窓口の開設日をもっと増やした方がいい
		外国人の親にも支援制度が理解できるように広報・周知してほしい
		実質的なひとり親（片方の親が長期療養中など）へのサポートも行うべき

県民会議での指摘事項（3回目）

部局名	事業名	発言内容
	陽子線がん治療センター利用促進事業	<p>小松空港から直結した外国人向けの医療ツアー等も行うべき</p> <p>インターネットでページレビューの多いところから情報をリンクさせる等、見てもらうための工夫を行うべき</p> <p>観光における医療ツーリズムなど、事業間連携を深めて、地域一帯で利用率向上を目指すべき</p> <p>小児がんも対応できるようにしてほしい</p>
農林水産部	スマート農業加速化実証プロジェクト (担い手対策事業)	<p>10年後を見据えた中長期的な担い手対策が必要</p> <p>スマート農業導入費は高額であるため、支援が必要</p>
総務部	知事公舎案件	<p>知事公舎の周辺住民にとってもいい形となるよう、処分の方法を考えてほしい</p> <p>建物と土地を一体として売却したほうがいい</p> <p>知事公舎は貴重な財産の一部であり、売る場合に、まずは関係市町、国等と取得希望があるかなど調整したうえで、その後、一般への売却とすべきである</p>